

平成 26 年 4 月 27 日

プロジェクト報告書

団体名 青梅精神障害者当事者ビジネスグループ

「ぶ〜け」

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

精神障害者だけによる雇用創出の事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

精神障害者が、各自が持つ高い能力を発揮し、当事者同士チームで支えあいながら、就労を果たし、仕事を通じ自己実現していく。人間関係やコミュニケーションに課題があるなど、就労の継続が難しいメンバーも相互理解のなかで、仕事で高いパフォーマンスを発揮できるよう、質の高い人材育成を行っていく。精神障害者はまともに働けないという、世間にある根強い偏見を覆していく。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

プロジェクトでは、ハウスクリーニング事業の人材育成に力を入れてきたが、お客様より、受注が増えたことにより、多くの現場を経験する中、各自の技術は確実に向上してきた。しかし、メンバーの中には、体力や集中力、コミュニケーション力において、基礎的な課題がある者も多く、これまで、青梅市役所内喫茶だんだん(各団体の障害者がローテーションで働く場、ぶ〜けは火曜日午後担当)の中で、トレーニングを行ってきたが、業種が違うため、それがハウスクリーニング業務へのステップアップになかなかつながらず、そこで私たちは、ハウスクリーニングの独自の人材育成チームを立ち上げた。観光通訳ビジネス事業は、メンバー、ジョブコーチの人選が決まるに留まっている。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

平成25年12月に立ち上げたバックヤードチームは、毎週木曜日に継続して開所している。内容は、道具や機械の手入れ、薬品や材料の用意、事務所の徹底清掃、社用車の徹底清掃、宣伝用のチラシ配りなど多岐にわたり行っている。一軍の現場と二軍のバックヤードチームにはそれぞれ、ジョブコーチを配置し、メンバーの指導に当たっているが、ジョブコーチ自身も便利屋の社長など、現場でプロの指導者に技術を学びながら、より高いスキルを身につけるよう努力している。現場でも、二軍でも打ち合わせ、振り返り、反省ミーティングを重視し、メンバー各自がそれぞれの具体的な努力目標を持つことにより、技術とコミュニケーション力を高めることを心掛けている。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

現場で高いクオリティーの仕事をするために人材育成は不可欠であるが、同時に各メンバーの個性、持ち味、得意分野を伸ばすことは、とても大切であると、いつも感じさせられる。プロのハウスクリーニングチームは、自ら努力し、スキルを上げることはもちろんだが、お互い指摘しあったり、補いあったりしながら、チームワークを上げていくことも大切なことであり、仲良しクラブでは成り立たない。障害を持ったメンバーが、現場で高いパフォーマンスを発揮するためには、それぞれの1日当たりの体力、集中力の続く、労働時間の限界と、週何日まで元気で働けるかの見極めが非常に大切である。またジョブコーチも、清掃業務技術だけではなく、各メンバーのストレングスと、ハンディキャップを考慮しつつ、自らの指導力を高めなければ、現場のニーズにこたえられないことがわかった。

青梅精神障害者当事者ビジネスグループ「ぶ〜け」

ハウスクリーニング・片付けサービス

ご案内



ご連絡先 090-9818-2742

michihisa-7992@tbi.t-com.ne.jp

<http:peer-bouquet.at.webry.info/>

ピアサポートグループ「ぶ〜け」当事者ビジネス運営委員会

家事援助サービス

業務マニュアル

2012, 4, 4 文責 松井道久

- 1、勤務者はユニフォームに着替え、開始時間5分前までに現場に入る
- 2、挨拶、報告、連絡、相談は元気よく的確に行う。
- 3、勤務者は家主の要望を良く聴き、誠意を持って業務に当たる、
- 4、勤務者は休憩時間を除き休まない
- 5、勤務者は休憩時間を除き喫煙しない
- 6、エアコン、照明など高所の掃除をする際は、床や家主の備品にほこりが落ちないように、あらかじめブルーシートで養生を行う。
- 7、障子などの掃除を行う際は、破かないように細心の注意を払って行う、格子の角のほこりを取る際は、めん棒を使用する。
- 8、トイレ用ブラシ、掃除機に関しては家主に借用する、返却の際、ブラシは消毒し、掃除機は清掃してお返しする。
- 9、勤務者は勤務中家主が望まない、私語は慎む。
- 10、雑巾は1度拭き用、2度拭き用、仕上げ用の3つに分けて使用する。
- 10、 用途に合わせ、使い捨てクリーンペーパーも使用する。
- 11、 細かい箇所の掃除には、歯ブラシおよびめん棒を使用する。
- 12、 ごみ、不用品の処分は、必ず、家主の許可を得て行う。
- 13、 家主の私物から出たごみ以外（掃除に使用したものなど）は必ず持ち帰る。
- 14、 勤務者は高い品質の仕事を提供することにより、口コミを広げ、リピーターを増やす努力を惜しまない

